



平成17年(2005年)
3月期
決算説明会資料

平成17年6月8日(水)

株式会社ニレコ

～目次～

会社概要	P. 3～7
平成17年(2005年)3月期決算の概要	P. 8～24
今期業績見通し	P. 25～28
中期経営計画の進捗状況	P. 29～34
株主還元策	P. 35～36

ニレコの事業とユーザー

事業	主なユーザー
プロセス事業	鉄鋼・非鉄金属・化学・ガス・電力
ウェブ事業	印刷・新聞・製紙・繊維・ゴム・フィルム
検査機事業	印刷・フィルム・非鉄金属・電機・精密機器

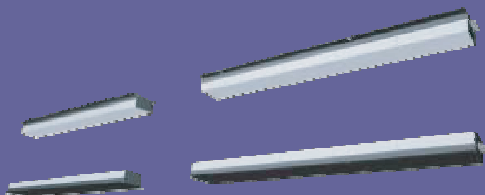
プロセス



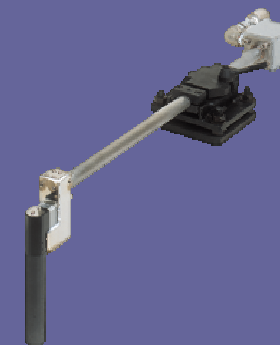
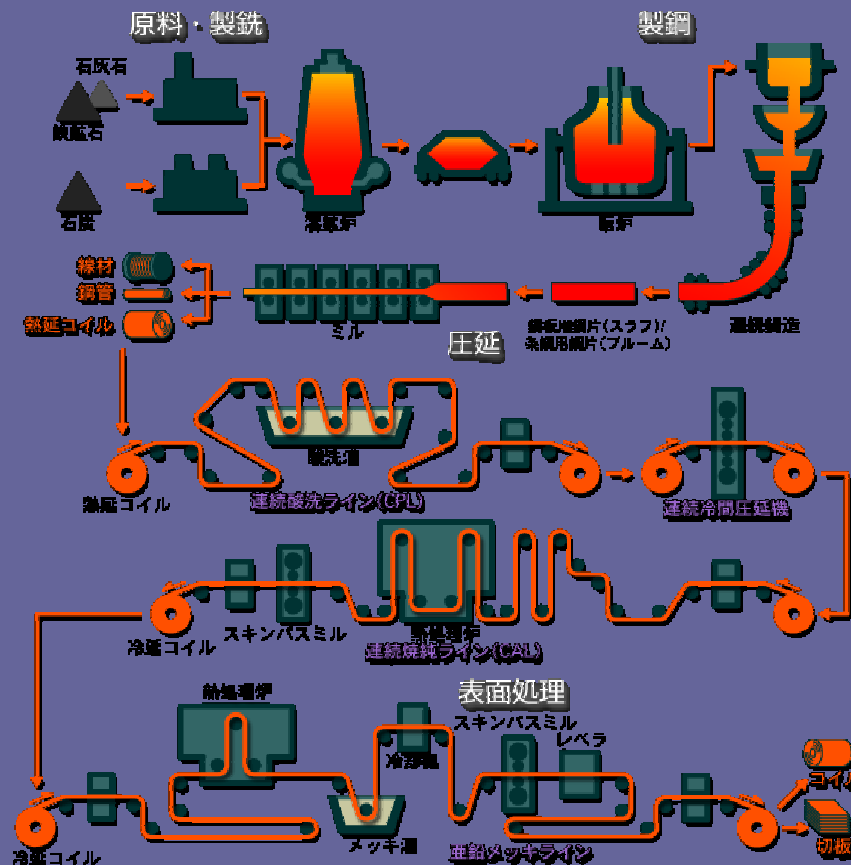
パワーガイド
(鉄鋼プラント)



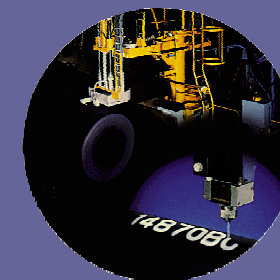
ストリップガイドアンプ



キャパシタンス
オートワイドセンサ
2(OP/C制御)



渦流式溶鋼レベル計
(連続鋳造ライン)



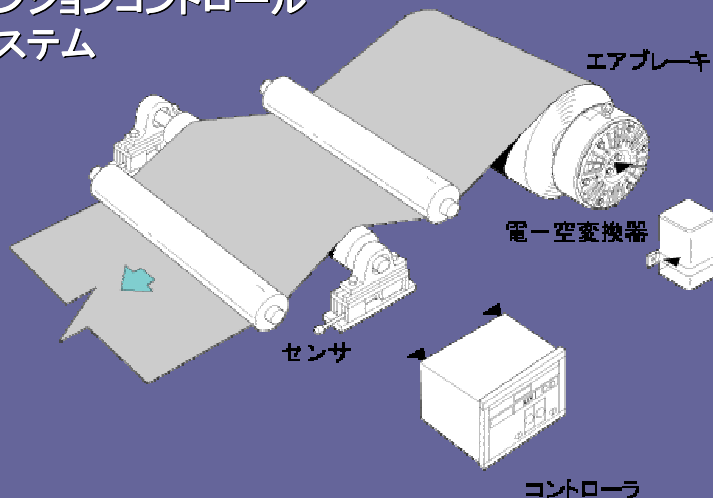
自動マーキング装置
(連続鋳造・圧延ライン)

テンション

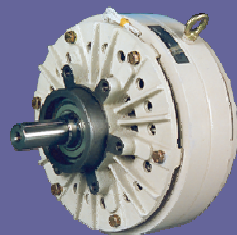
ウェブコントロール

EPC

テンションコントロールシステム



テンションコントローラ

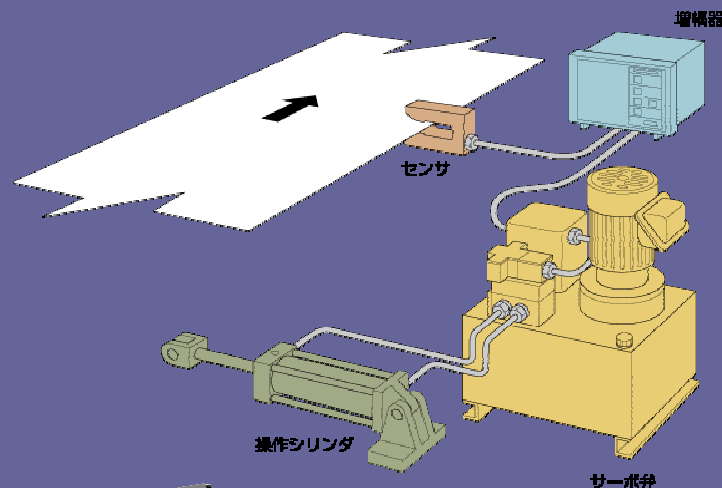


パウダブレーキ



2005/6/9
テンションセンサ

● EPCシステム



EPCセンサ



ライトガイドコントローラ

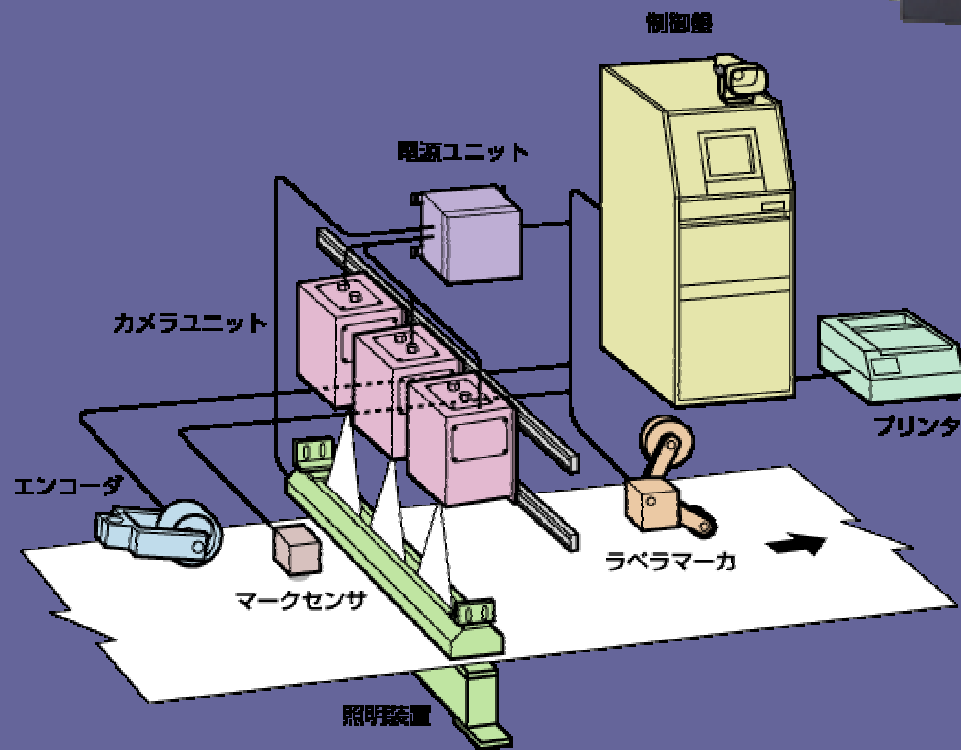


サーボガイド

検査装置

印刷品質検査装置

● BCON2000構成図



BCON2000MK-II
カメラユニット



印刷品質検査装置
BCON2000



無地表面欠陥検査装置
DIPS 6

2005/6/9

主な事業と製品類

事業	制御機器類	計測・検査機器類
プロセス事業	プロセス制御装置 耳端位置制御装置(EPC) 自動識別印字装置(マーカ)	渦流式溶鋼レベル計
ウェブ事業	耳端位置制御装置(EPC) 張力制御装置 見当合わせ、切断制御装置 糊付け装置	—
検査機事業	—	印刷検査装置(BCON) 無地検査装置(DIPS) 画像処理解析装置(ルーゼックス) 青果物外観検査装置
その他	—	近赤外分析装置(NIRS)

前期決算の概要

～決算の概要～

- 受注の前年同期比18%増に対して、売上高は同8%増に
- ウェブ関連を中心に好調な受注環境が続く
- グローバル化進展、競争激化による値引き圧力の高まりが利益率を圧迫（とくにプロセス事業）

損益計算書の概要(連結)

(単位：百万円)

	当期 (05/3)		前期 (04/3)		増 減	
	金額	比率	金額	比率	金額	伸率
売上高	7,685	100.0%	7,101	100.0%	584	8.2%
売上総利益	2,538	33.0%	2,318	32.7%	219	9.4%
営業利益	280	3.6%	213	3.0%	67	31.2%
経常利益	359	4.7%	280	3.9%	79	28.2%
当期純利益	139	1.8%	342	4.8%	△203	△59.3%
設備投資額	114	—	91	—	23	—
減価償却費	122	1.6%	124	1.8%	△2	△1.7%
研究開発費	671	8.7%	622	8.8%	49	7.9%
一株当り利益	10円89銭		31円90銭			

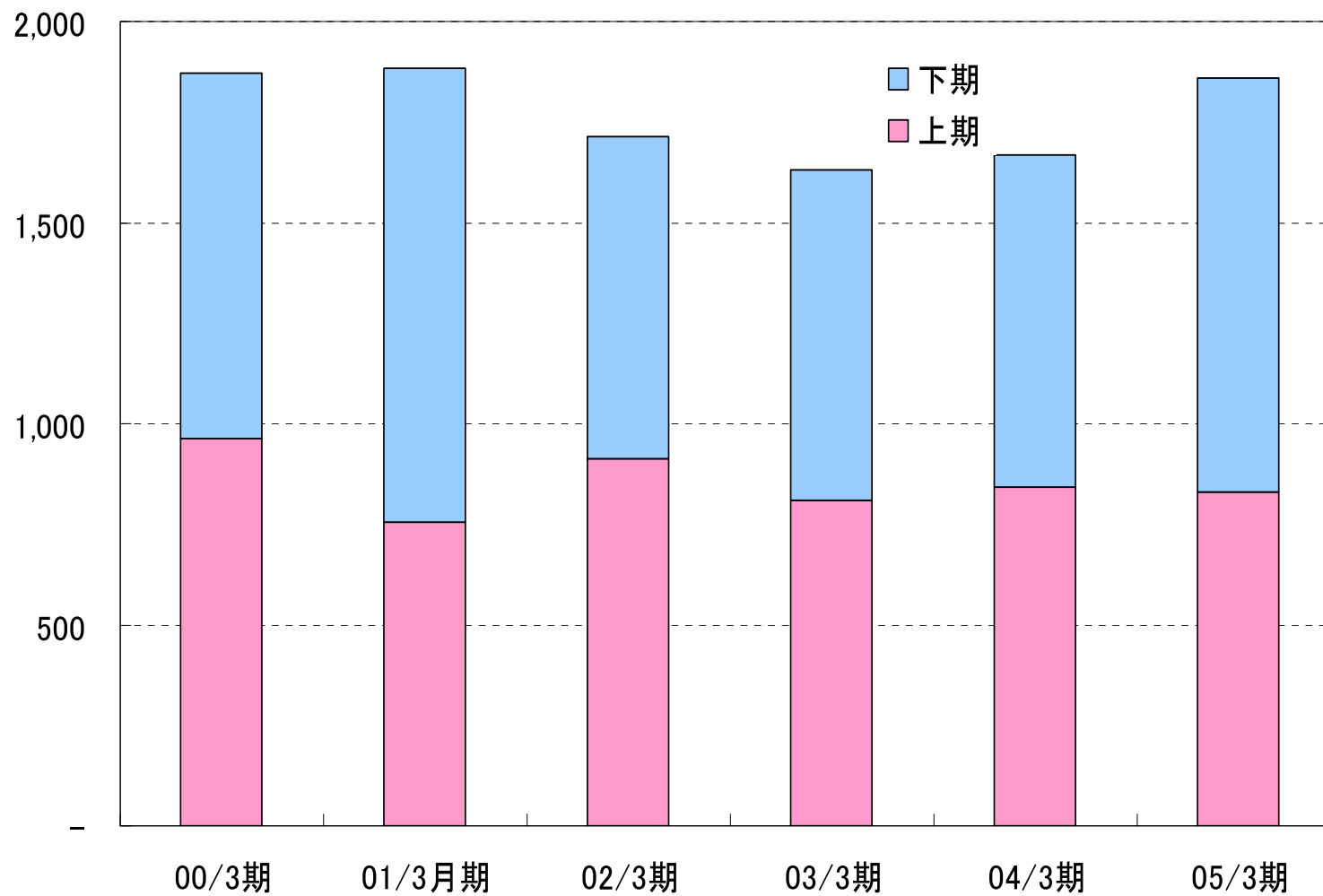
2005年3月期 受注及び売上の状況(単体)

(単位：百万円)

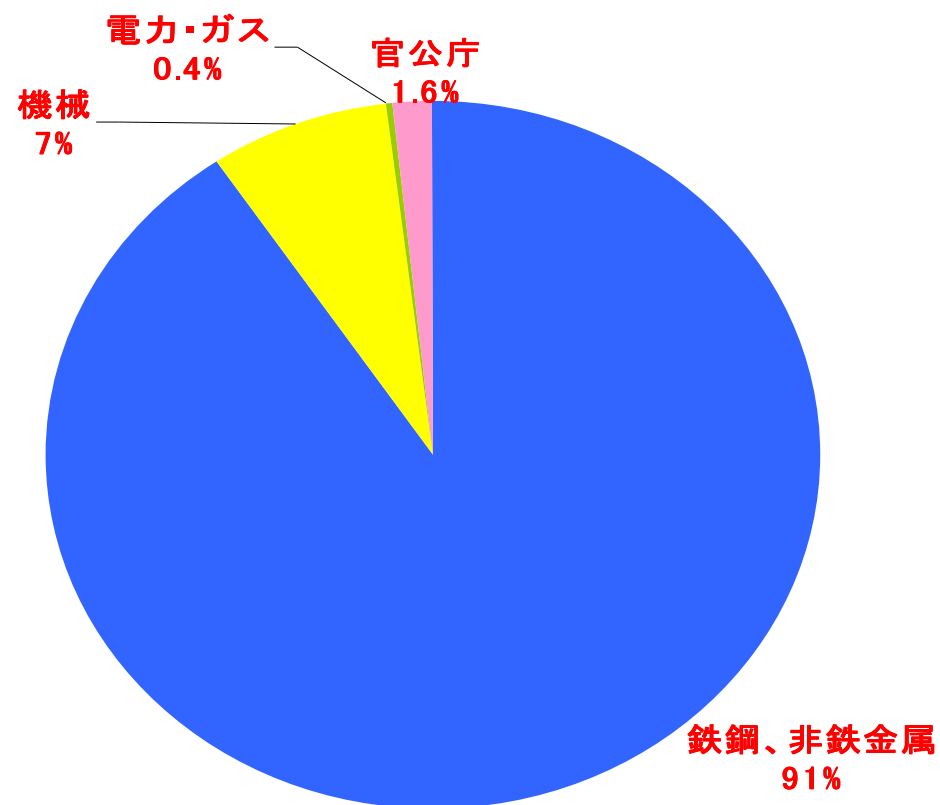
	受注高		売上高		受注残高	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
プロセス事業	2,012	24.9%	1,857	11.5%	854	22.2%
ウェブ事業	3,706	14.7%	3,585	9.5%	526	29.9%
検査機事業	1,593	24.2%	1,360	7.9%	634	58.2%
その他 (近赤外分析など)	178	△17.6%	146	△41.0%	38	642.2%
合計	7,490	18.1%	6,949	7.8%	2,053	35.9%

《プロセス事業 売上高推移(単体)》

(単位:百万円)

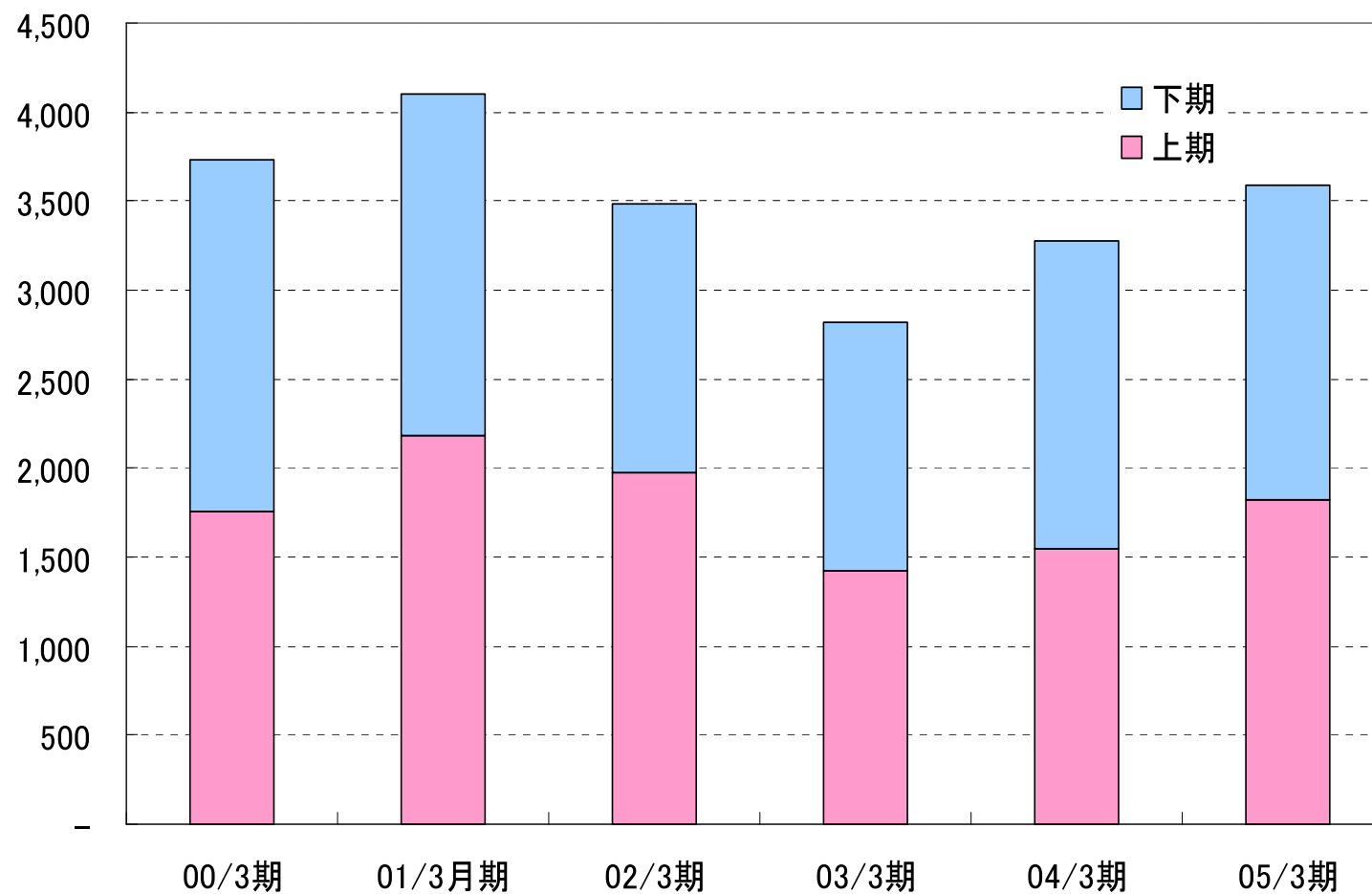


《プロセス事業 ユーザー業種別 売上構成比(単体)》

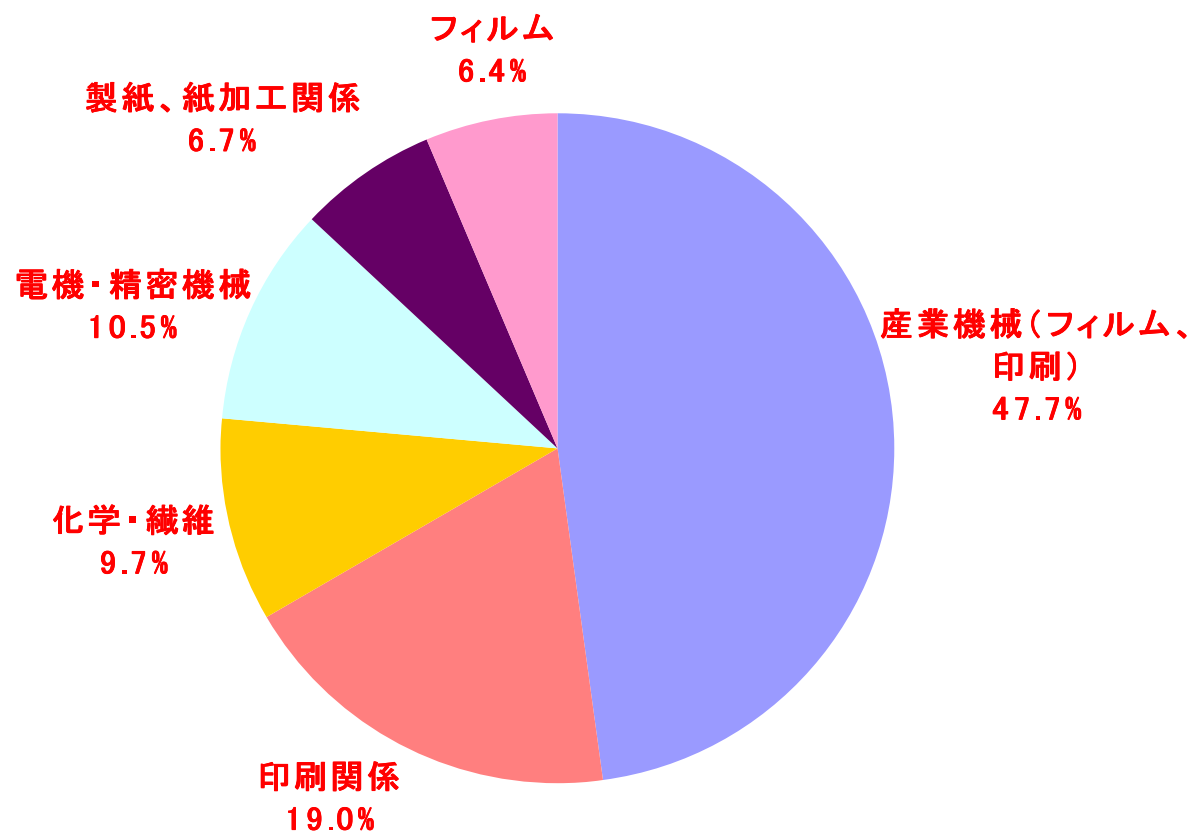


《ウェブ事業 売上高推移(単体)》

(単位:百万円)

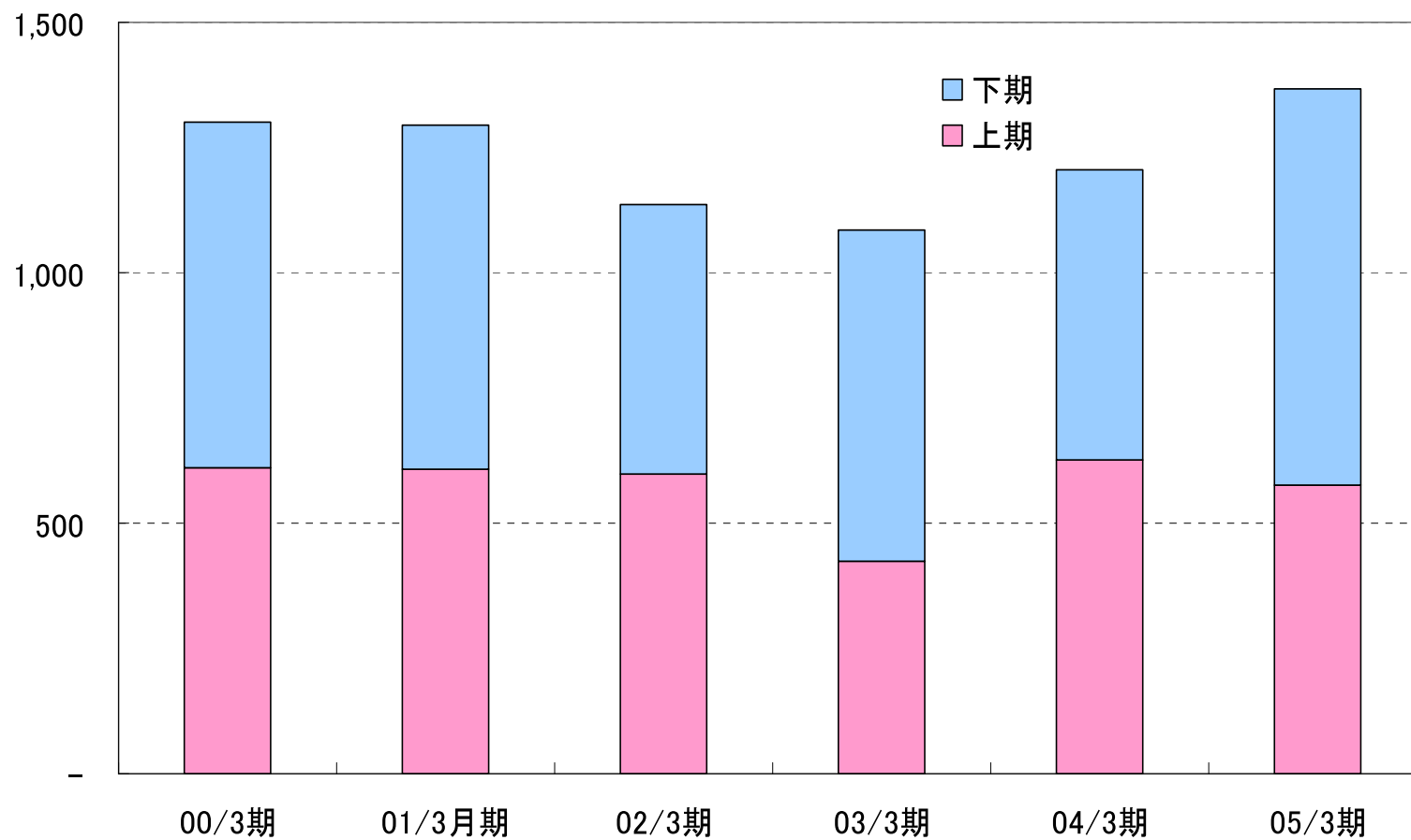


《ウェブ事業ユーザー業界別 売上構成比(単体)》

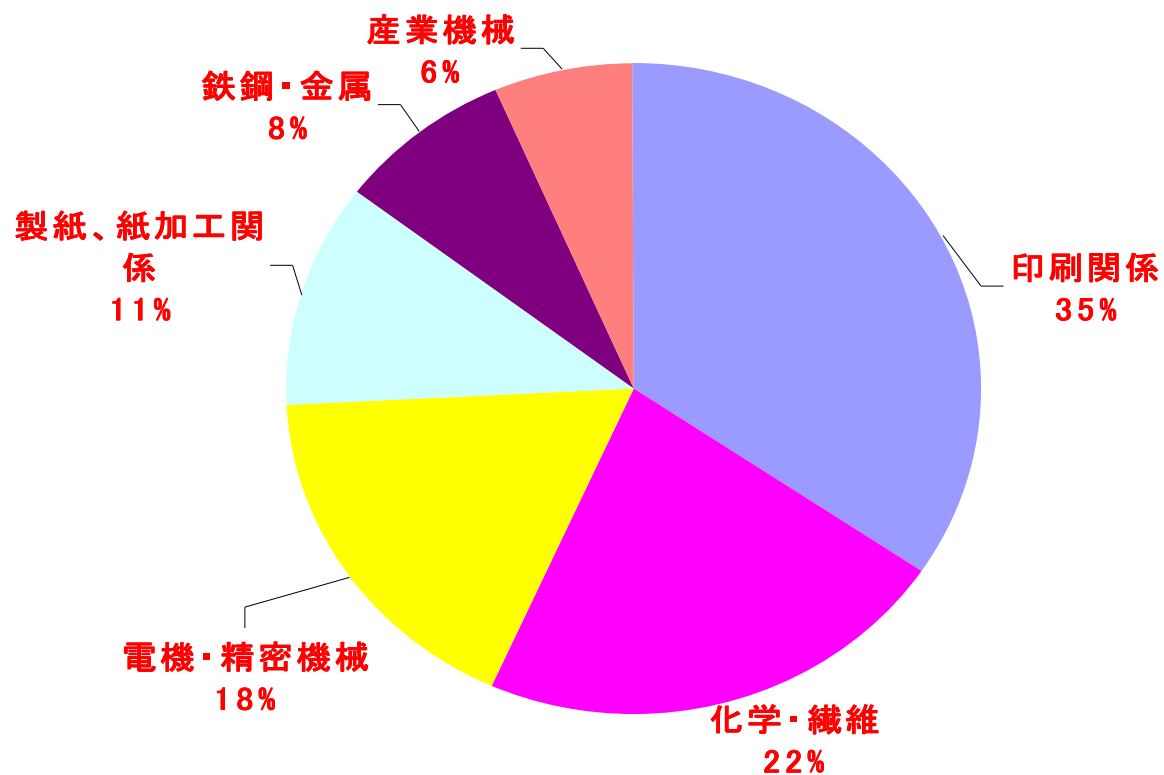


《検査機事業売上高推移(単体)》

(単位:百万円)



《検査機事業ユーザー業界別 売上構成比(単体)》



増収増益の要因

■増収要因

ウェブ事業は、電子部品用素材やFPD用フィルム向け制御装置の好調が続き全体を強く牽引した。好調な受注環境を受けてプロセス、検査機事業が着実に業績を伸ばした。

プロセス事業 国内鉄鋼業界は業績好調でも設備投資を抑制。リプレース需要と中国等の東アジアを中心に海外売上の増加により、受注・売上とも前期を上回る。

ウェブ事業 電子部品、FPD用高感度フィルム向け制御装置の好調が全体を牽引。印刷業界も好調に推移。

検査機事業 印刷、電子機器業界の設備投資増により、受注環境が良好だった。さらに、無地検査装置が、印刷、化学、電子機器業界の新市場を開拓した。

■増益要因

グループ全体の増収に伴い利益増

利益率の高い鉄鋼関係のメンテナンス・サービス子会社(ニレコ計装)の好調

主要経費の推移(1)

《販売費及び一般管理費(連結)》

(単位:百万円)

	03/3期		04/3期		05/3期	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
広告宣伝費及び販売資料費	112	1.7	109	1.5	109	1.4
旅費交通費	153	2.4	150	2.1	153	2.0
人件費(給与手当・賞与)	685	10.6	661	9.3	697	9.1
その他	1,191	18.4	1,183	16.7	1,296	16.9
合計	2,142	33.0	2,105	29.7	2,257	29.4

主要経費の推移(2)

《設備投資・減価償却費・研究開発費(連結)》

(単位:百万円)

	03/3期	04/3期	05/3期
設備投資	109	91	114
減価償却費	138	124	122
研究開発費	669	622	671
(売上比)	10.3%	8.7%	8.7%

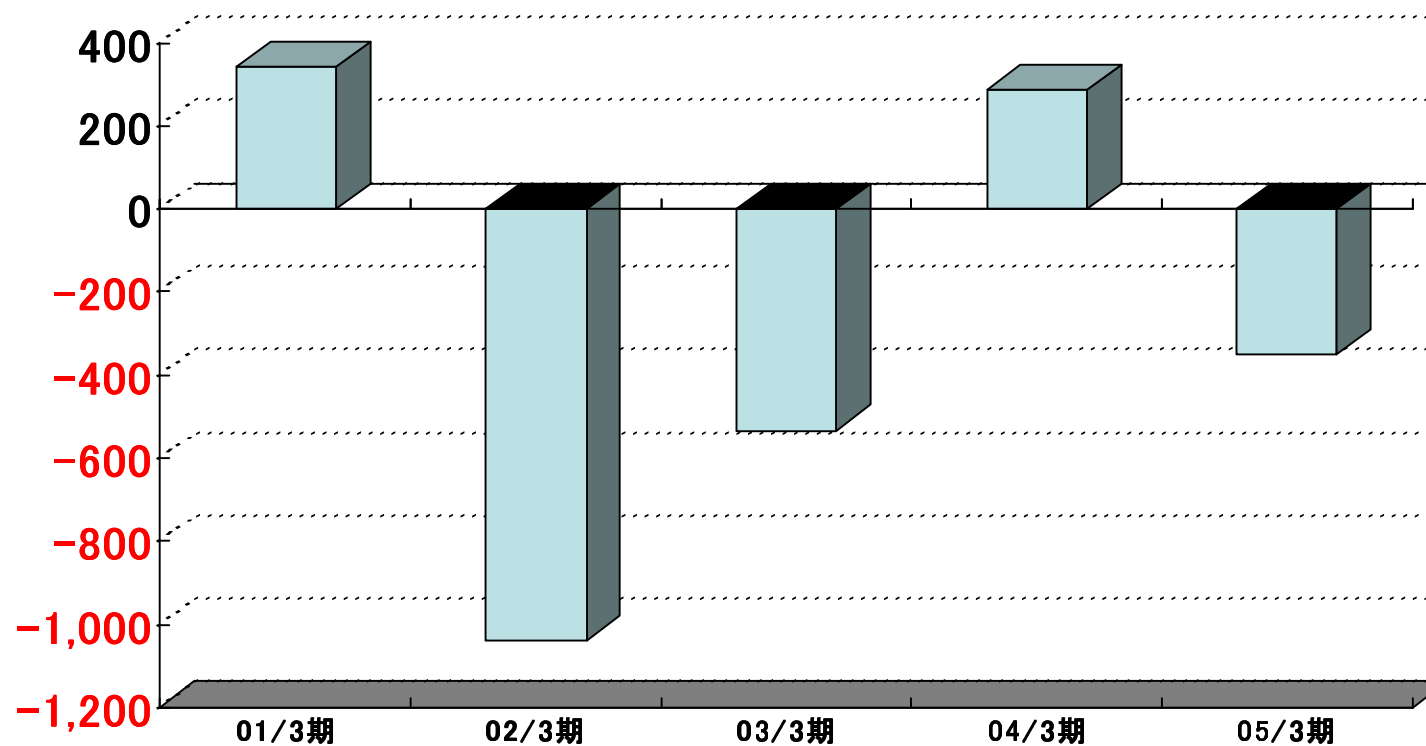
貸借対照表の概要

(単位：百万円)

	当05/3期末		前04/3期末		増減	備考
	金額	構成比	金額	構成比		
現金預金	2,413	16.6%	2,855	19.7%	△442	営業CFの減少
売上債権	3,526	24.2%	3,246	22.4%	280	増収及び回収サイト長期化
有価証券	226	1.6%	171	1.2%	55	
棚卸資産	3,363	23.1%	3,127	21.5%	236	在庫の増加
その他流動資産	443	3.0%	282	1.9%	161	繰延税金資産の増加
流動資産計	9,973	68.4%	9,684	66.7%	289	
有形固定資産	1,693	11.6%	1,703	11.7%	△10	
無形固定資産	55	0.4%	75	0.5%	△20	
投資その他の資産	2,855	19.6%	3,064	21.1%	△209	
固定資産計	4,603	31.6%	4,843	33.3%	△240	
資産合計	14,576	100.0%	14,526	100.0%	50	
買入債務	510	3.5%	447	3.1%	63	
短期借入金	1	0.0%	0	0.0%	1	
その他流動負債	701	4.8%	592	4.1%	109	
流動負債計	1,213	8.3%	1,040	7.2%	173	
長期借入金	4	0.0%	2	0.0%	2	
その他固定負債	395	2.7%	538	3.7%	△143	
固定負債計	400	2.7%	541	3.7%	△141	
負債合計	1,613	11.1%	1,582	10.9%	31	
資本合計	12,714	87.2%	12,703	87.4%	11	
負債、少数株主持分、資本合計	14,576	100.0%	14,526	100.0%	50	

フリーキャッシュフローの推移

(単位：百万円)



注)フリーキャッシュフロー(FCF)＝営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

今期業績見通し

損益計算書の概要(連結)

(単位：百万円)

	今期計画 (06/3)		前期実績 (05/3)		増 減	
	金額	比率	金額	比率	金額	伸率
売上高	7,700	100.0	7,685	100.0	15	0.2
売上総利益	2,540	33.0	2,538	33.0	62	2.4
営業利益	385	5.0	280	3.6	70	25.0
経常利益	500	6.5	359	4.7	141	39.2
当期純利益	50	0.6	139	1.8	△89	△64.0
設備投資	100	—	114	—	△14	—
減価償却費	120	1.5	122	1.5	△2	△1.6
研究開発費	670	8.7	671	8.7	△1	△0.0
一株当り利益	00.00	—	10.89	—	—	—

受注及び販売の見通し(単体)

(単位：百万円)

	受注高		売上高		受注残高	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
プロセス事業	1,700	△15.5%	1,860	0.1%	694	△18.7%
ウェブ事業	3,145	△15.1%	3,205	△10.5%	466	△11.4%
検査機事業	1,850	16.1%	1,730	27.2%	754	18.9%
その他 (近赤外分析など)	240	34.8%	205	40.4%	73	92.1%
合計	6,935	△7.4%	7,000	0.7%	1,932	△5.8%

～今後の方針～

- 営業利益率5%の達成
- 主力製品の競争力を高める
- 採算見込みのない製品は止める

プロセス事業、検査機事業における「選択と集中」

東アジア地区における営業強化

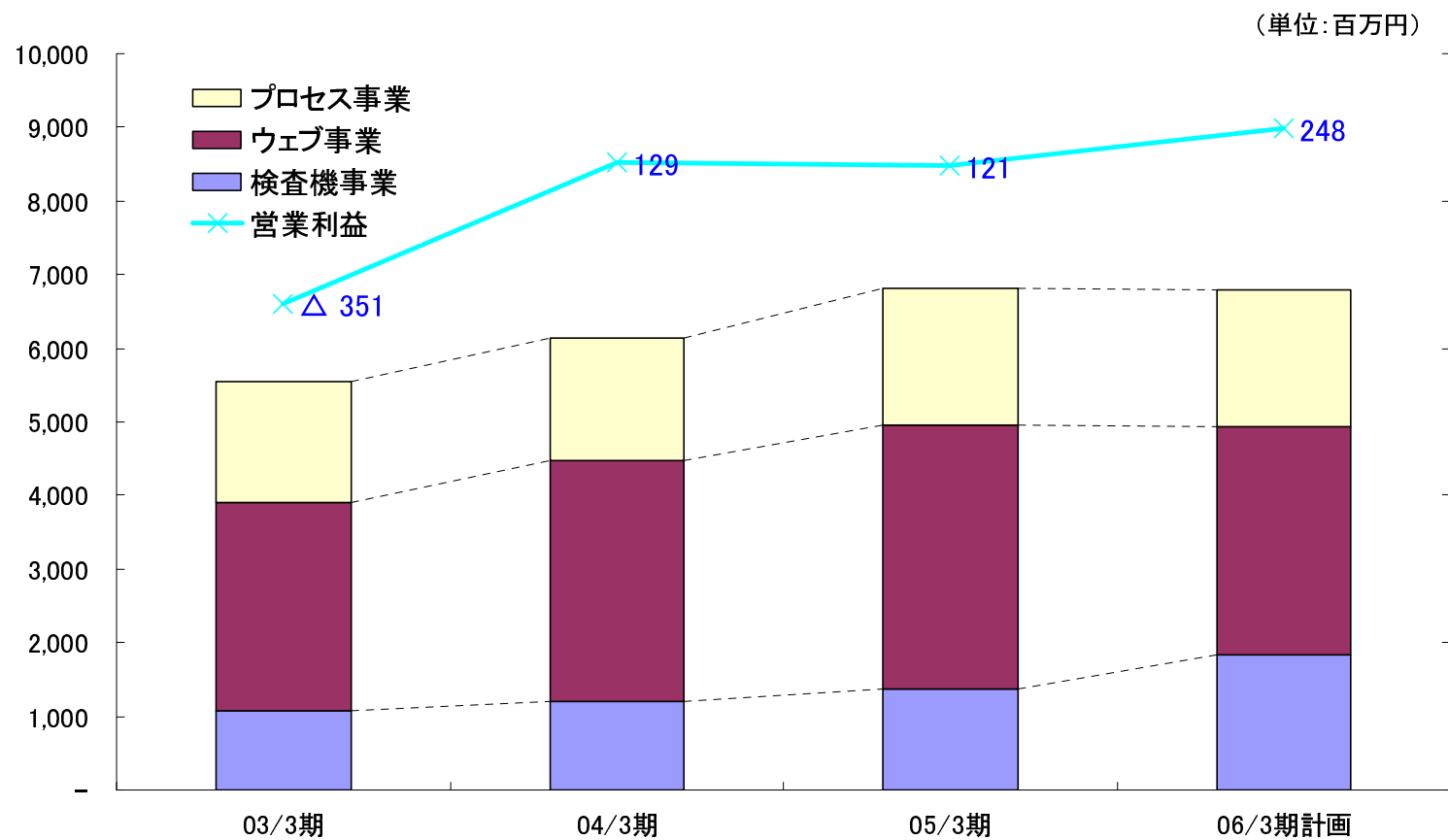
中国における生産の推進

新規事業の構築と既存事業との相乗効果の追求

今期の事業部門別 事業戦略

事業区分	取組み施策
プロセス事業	国内の鉄鋼メーカーの設備更新及び新規ライン計画の活発化 中国、韓国、台湾の鉄鋼メーカーの設備投資は当面継続 主力製品の新規開発を開始 (2005年10月マーキング装置、2006年1月鉄鋼用EPC装置) 中国での一部油圧製品の生産を本格開始(2005年10月)
ウェブ事業	電子部品、液晶用高感度フィルムは前期に比べ減速傾向にあるものの、好調は維持 前期を上回る実績は難しいが、来期以降を見据えた製品開発(CPCセンサ)
検査機事業	組織変更により無地検査装置の技術、営業要員の増強した。(売上増加計画) 新規の印刷検査装置(シール、ラベル用)を米国市場向けに販売開始 (1名米国に派遣)

部門別売上高



検査機事業の製品戦略

印刷検査装置 (BCON)

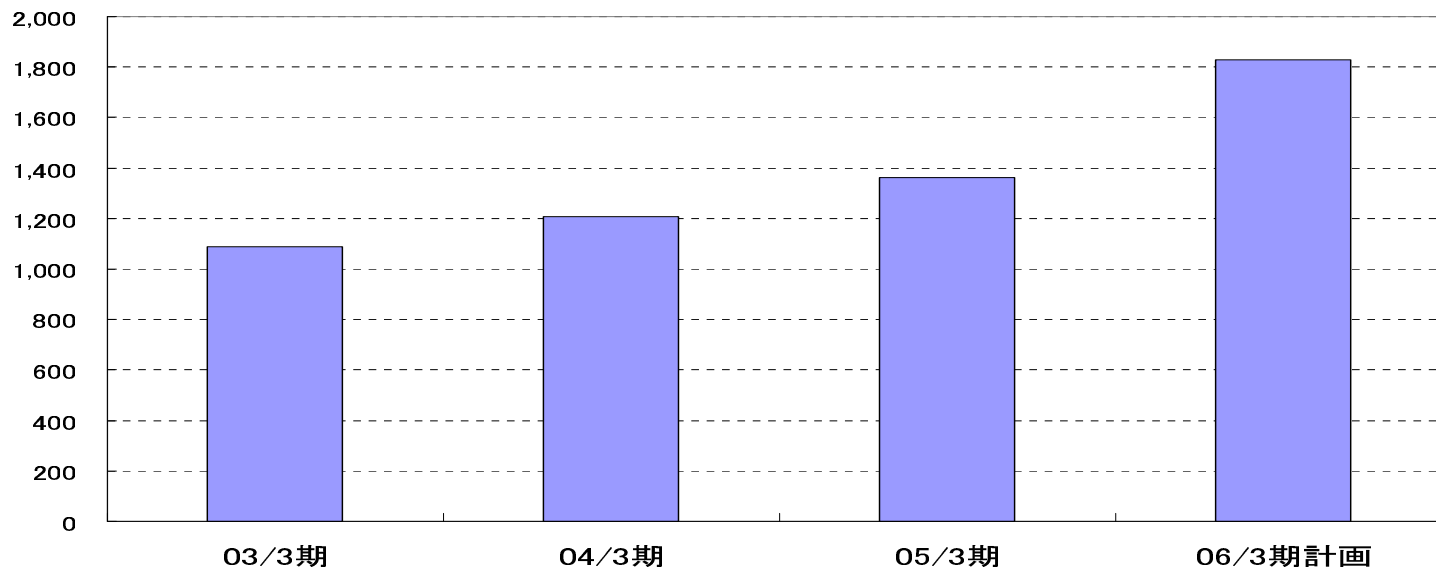
- 印刷物の汚れや品質の検査
- 食品パッケージ、グラビアから商業オフセット印刷に市場拡大
- 3板式カメラと画像処理技術
- フレキシソ印刷対応型により米国市場での販売拡大

無地検査装置 (DIPS)

- 紙・フィルムから金属まで幅広い用途
- 素材の汚れや傷の表面検査
- 製品ラインアップをの充実
- 製品の成熟化に伴うコストダウン

《検査機事業売上高推移(単体)》

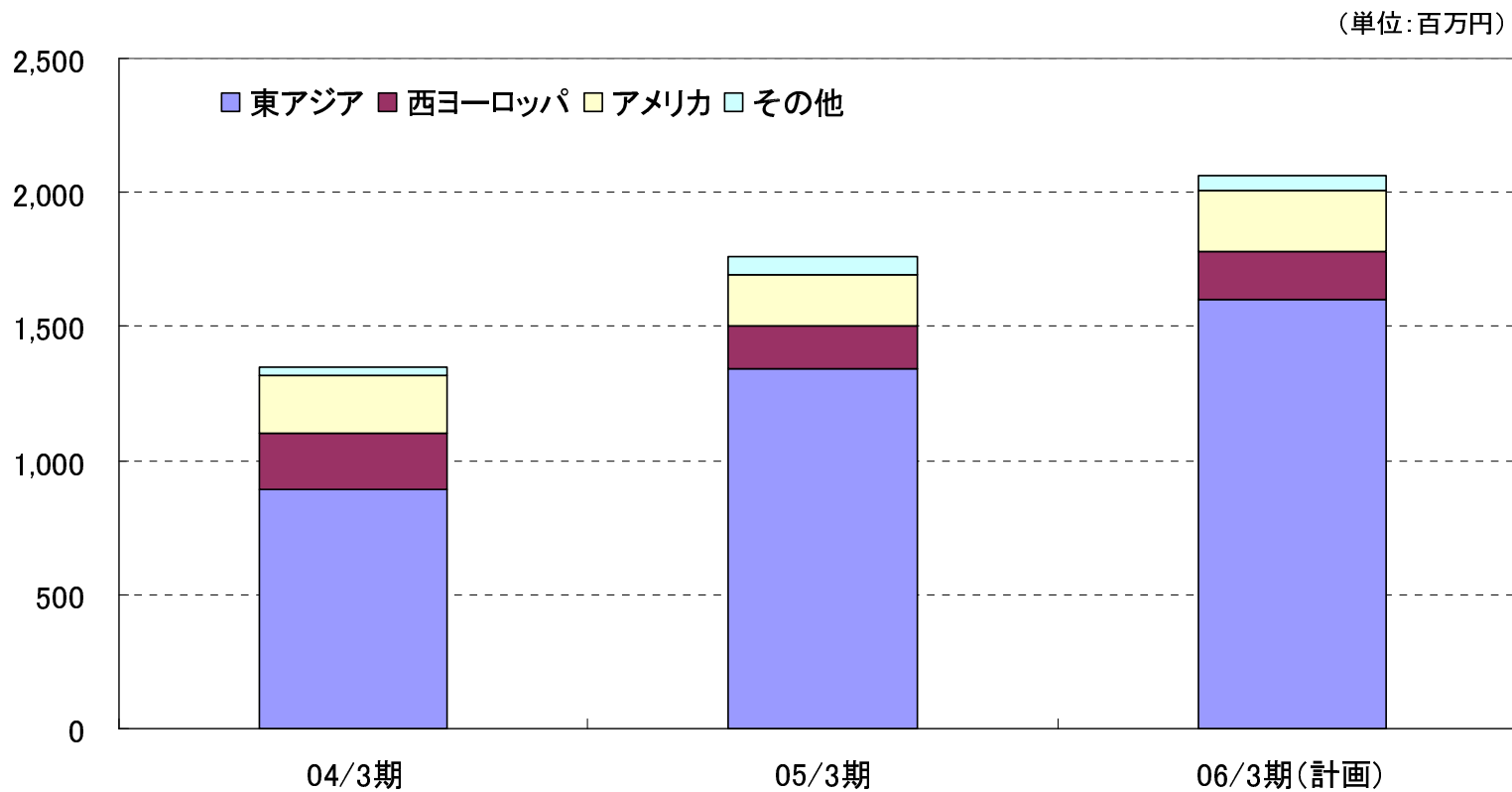
(単位:百万円)



海外市場展開

- 海外売上高は連結売上高の22.8%
- 東アジア地区を主として海外売上の比率を伸ばす

《海外市場別売上高》



～中国市場への取組み(第三報)～

尼利可自動制御機器(上海)有限公司

■中国生産によるコストダウン

2005年3月末までの納品実績

張力制御センサ 3,000台

検査機制御盤 50台

プロセス制御盤 40台

■2005年9月に工場移転

工作設備を増強(張力制御センサの自加工、油圧制御機器の製作を開始)

■2005年10月に上海営業所を開設(2名の予定)

アフターサービスは尼利可自動制御機器(上海)有限公司から派遣。

株主還元策

～ 配当政策～

安定配当を確保(配当性向35%以上を維持を原則)

今期は年間12円／株を配当予定

～ニレコ計装株式会社～

■会社概要

昭和47年5月設立

資本金 19,800千円

従業員数 26名

業務内容 制御機器の試運転・計装工事及びアフターサービス

■売上高の推移

(単位:百万円)

